



50号 令和7年2月25日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより(職員編)

呉市立阿賀小学校  
安宗 誠

## 本年度最後の小中一貫教育合同研修会

2月21日(金)、阿賀中学校で本年度最後の小中一貫教育合同研修会を行いました。私から小中の教職員の皆さんにお伝えしたことは・・・,

1 小中一貫教育で最も大切なことは・・・,

小中の教職員が深い絆で結ばれていること。本中学校区はそれができていて何よりです。そのことが、本日参観した阿賀中の子供達の授業中の表情や雰囲気によさにつながっていますね。

2 本年度の研究のキーワードは「居場所ひろげ・ふかめ」でしたが・・・,

1人1人の子どもをしっかりと見て、関わり切ろうという意識を強調するキーワードでしたが、それに向けた取組ができたように思います。

3 来年度の研究のキーワードは「コミュニケーション」ですが・・・,

「コミュニケーション」と言えば、相互の思いや考えを音声言語でよりよく伝え合うというイメージが強いのですが、ノンバーバルコミュニケーションによって相互の思いを汲むことも含めての「コミュニケーション」という捉えた方です。すなわち、「居場所ひろげ・ふかめ」につながる「コミュニケーション」の追究ということになりますね。

4 「制限時間のない授業」をどう創造するのか・・・,

本中学校区を3年間にわたってご指導いただいた竹野英敏教授(広島工業大学)から、一層自尊感情・自己有用感を高めるための授業のあり方について、「制限時間のない授業」をどう構築するのかという提起がありました。今後、このことも追究していきましょう。

西林教諭(阿賀中・研究主任)によって、本年度の研究の振り返りと来年度の研究の方向性について、共有する時間を取りました。



小中合同の研究協議会の様子



研究協議会でのグループ協議の発表の様子



竹野英敏教授(広島工業大学)による指導講話

